



# 我が街の活動紹介

● 順不同 ●

## 仲町町内会

会長

種村 孝



春日部市粕壁の中心地に位置する仲町は、古くからその地名を広く知られた、名譽ある町内会です。世帯数こそ、今は二〇世帯と他地区に比べて少なくなりましたがその決して広くはない地域の中に凝縮された都市体形が整っています。長年住んでおられる方も、また最近越して来られた方も仲良く集会等に積極的に参加して頂くことを大変嬉しく思っています。

仲町町内会は、会長一名、副会長二名、会計二名、理事七名、班長一四名で運営しています。組織としては、婦人部、青年部、福寿会、育成会、仲町底抜け屋台の会があります。

町内会行事として、まず、全町内の方々が集う新年会が一年の行事の始まりです。次に、年の初めの恒例行事として青年部主催、婦

人部の応援による餅つき大会。子どもたちは、餅が食べ放題で、メロンコやコマ回し等の昔の遊びに夢中です。やがて大人たちも加わり楽しく年の初めを祝います。

三月には古利根川の清掃に早春の汗を流して和の結末を図ります。四月に入ると、新旧役員さんの合同役員会。五月には総会を開催し本年度人事及び実行項目を承認して頂きます。

六月のクリンデーを行うと、もう町内をあげて夏祭りの準備です。お祭り当日は、町の中心部の仲町ですから大勢が参加いたします。底抜け屋台も、子どもたちが手踊りを笛・太鼓・三味線に合わせて可愛く踊り、お祭りの人気者です。学校の夏休みに入ると、パーベキュー大会があります。他町



夏まつり底抜け屋台

からもたくさん参加者があるくらい大変楽しい大会です。

秋には防災訓練に町内一丸となつて取り組みます。十月の体育祭には毎年参加していますが、いかんせん二〇世帯の町内では、選手集めにも苦勞が多く、残念ながら昔のような好成績はあげられなくなってきました。

十二月になると会費制の忘年会。酔うほどに町内会の運営に助言・苦言を呈され、役員の皆様が町内会を愛されての本音の発言と本当に参考になります。

仲町は、本当に仲の良い町内です。各町内ともいろいろ問題を抱えておいでかと思いますが、皆様のご意見、ご苦勞などお聞かせいただければ幸いです。

## 八丁目新町自治会

地区長

松永 正一



私たちの地区、八丁目新町を紹介いたします。古利根川にかかる新町橋の通り（県道惣新田春日部線）で、両側の町並は半世紀位前よりほとんど世帯数が変わらない小さな地域で、一〇一世帯です。新町

橋は市制施行五〇周年記念誌のコラム夏まつり紹介に、大正一〇年に木造の新町橋を新町の山車が大勢の町会の人達に引かれて渡る様子として載っています。この時代の新町地区は相当盛大に執り行われている様子が感じられます。

さて、私たちの一年間の行事を紹介いたします。一月には、元旦祭が執り行われます。町内には、八丁目地区の神社（香取、八坂、種荷、合社）が奉られております。当日には、初参りの方々が大勢参拝にこられます。破魔矢売り、おみくじ引き、御縁銭の配布、お御輿も八友会の人たちによって、そして、太鼓同好会の皆さんの太鼓打ちが奉納されます。また、八友会の人たちが甘酒をふるまい、大いに盛り上がります。

四月は総会、六月は市主催のクリンデーに参加、七月には春日部夏まつりに参加します。この祭りには、町会の山車がパレードに出ます。四基の山車の一基です。新町地区の一年間の一大イベントで二か月前からいろいろと準備が始まります。この山車は、高さ四メートル、重さ二、〇〇〇キロで、明治初期に造られたものです。古い伝統ある山車を維持するために、先輩の地区長の皆様方は、並々ならぬご苦勞があつ



夏まつり

たと聞いております。前地区長の斉田周作氏の時の平成十年八月に山車大修理の話があり、二年間祭りパレードへの参加を休むことに決まり、前地区長とともに、町内一丸となって協力し合い資金の目途が付き大修理に着手しました。そして平成十二年の夏まつりにはめでたく大修理が完成して、パレードに参加の運びになりました。十月は幸松地区体育祭に参加、十一月は幸松地区クリンデーに参加、一月は新年会、三月は古利根川清掃を行います。地区の役員は地区長、副地区長二名、会計、書記、会計監査、組長二名で構成されています。最後に、新町橋の架け替え工事は平成十七年度中に完成と聞いております。新町橋は町内会の誇りであり、新しくなる新町橋は橋の上で隅切りがあるとても珍しい橋となります。これは、八丁目地区の各地区長さんのアイデアで設計されたものです。今後も地区発展のため、皆様方のご協力をよろしく願います。

正善第一自治会

会長

上原 十九三



当自治会は、正善小学校正門前から国道四号線に向かって広がる約二五〇世帯の自治会です。

次に、当地区の主な活動を月別に紹介します。

四月 自治会内にて火災の被害がありました。自治会はもとより、各班長にお願いをして会員から募金を集め、被災者に見舞金を差し上げました。

六月 第一回備後下地区三二運動会に参加しました。開会式には一〇〇名ほど集まり、準備体操に始まり、紅白に分かれて綱引き・パン食い競争のほか地区対抗種目を行いました。昼にはカレーとパン、焼きそばを参加者に配り、盛況のうちに終わりました。

七月 納涼祭。正善小学校校庭にやぐらを組みカラオケ大会と抽選会のほか、自治会ごとに模擬店を出しました。当自治会は焼き鳥・フランクフルト・焼きとうもろこしの店を、担当班を

決めて出しました。九月 地区体育祭に向けて選手集めに翻弄された一か月でした。

十月 武里地区体育祭は優勝することができました。選手として参加されました皆様に御礼申し上げます。また、閉会式においては春日部市制施行五〇周年記念にあたり、万歳三唱の大役をやらせていただきました。

十一月 地区防災訓練に参加しました。強風のために消火訓練ができませんでした。

十二月 もちつき大会前日の大雨も上がり、二〇キロの餅と二〇キロの赤飯と豚汁を作りました。この売り上げと入場料と募金を、新潟県中越地震の被災者へ寄附しました。

十二月 地区の防犯巡回を、三班を一組として週二回の当番表を作り、拍子木三組・赤色灯二



地区体育祭優勝

本・懐中電灯二個を購入して行っています。巡回日誌をつけています。

その他、当自治会会員によるクラブ活動を主催しています。参加は自由です。染谷忠保先生の指導のもと月二回第二・四日曜日に詩吟とデュエット教室を開催しています。武里東公民館で、月一回大河内光治さんの料理教室を開催しています。男女三〇歳から七〇歳代の参加があります。

このような活動を引き続き行い、輪を広げ、和のある、住みよい正善第一自治会にしたいと思えます。ご協力していただける方は、ぜひ会長まで連絡をお願いします。

荻原自治会

会長

内海 仲



荻原自治会は、豊野地区の最北端に位置し、東武野田線「藤の牛鳥駅」より徒歩にて十分以内という恵まれた立地条件から、最近はその住宅の建設が多くなっており、現在の自治会加入世帯は二〇〇軒ほどでございます。また、アパート居住世帯六〇軒は残念ながら未加



防災倉庫

入となっております。昔、私が組長をしていた四〇年ほど前は三〇軒ほどの小さい自治会でしたが、今日では一七〇軒も増加し、たいへん喜ばしいことです。

地区のお祭りもお稲荷様の初午の日に祈願お祝いを氏子会で行っております。また、お地蔵様のお祭りを八月二十三日に盛大に行います。最近、お地蔵様にお参りする人が多くなってきました。お賽銭は、お地蔵様の維持費に充てたいと思います。

防災関係では、豊野北地区合同の訓練を行いまして、市からの助成金により、昨年はヘルメットを二五個、今年は防災倉庫を購入したところですが、これから地域の皆様とともに訓練に励んで行きたいと思っております。

四月には、地区の総会を行います。会長、副会長(二名)、会計、監査(二名)、氏子総代(二名)、

保健推進員、クリーン推進員(三名)、PTA(小学校一名・中学校一名)、その他農業委員と一五名の班長で運営をしております。なお、班長は一年それ以外の役員は二年の任期です。

五月には、春のクリーンデーにて役員の方々の参加を得て、全地区を清掃します。九月には、防災訓練を実施します。また、一〇月に開催される豊野地区体育祭には多数の方が参加をしております。

荻原地区に住んで良かったと喜んでいただけるような生活環境づくりに励んでいきたいと思っておりますので、今後とも、よろしくお願ひします。

増戸地区

地区長

小暮 忠夫



私たちの住む増戸地区は、国道十六号及び春日部自動車検査登録事務所を挟んで両側に位置し、東北自動車道岩槻インターからの渋滞による影響を受け、朝夕の時間は車の往来が激しい地域であります。

昭和二十九年の一町四か村の合併前は僅か三五世帯弱の戸数と、先人より伺っています。現在では二六一世帯強の数になり、合併前の約九倍以上の世帯数になりました。

私たちの自治会組織を紹介します。地区長一名、副地区長三名、会計一名、監査二名及び班長一九名で構成され、状況に応じて役員会・班長会・報告会等を開催し自治会運営を行っています。

自治会行事としては、三月の総会を初めに、月一度のちびっ子広場、地区弁天様の清掃、六月一日の市内全地域春のクリーンデーに地区長・クリーン推進員を中心に地区全員参加で活動しています。八月二十二日は、防災訓練にも

増戸自主防災会と土囊訓練体験者合わせて二九名の方が参加されました。十月三日は、豊春地区体育祭とのことで隣接地区の増富・増富東地区との合同の青チームとし



国体民泊協力

て毎年参加しています。今年も役員はじめ選手の皆さんが意気込んでいましたが、台風の接近により延期になり最終的には中止となり全く残念でした。

埼玉国民体育大会にあたり当地区でも増戸民泊協力会として宿泊を受け入れました。峯山住職宅には、少年女子卓球茨城県代表校チームが宿泊し、歓迎会ではいろいろと盛り上がりました。初日の競技には班長他数名での応援に参加し、勝利を収め、全員で喜び合いました。二日目の競技にも勝利を目標に地区総出で応援に駆けつけましたが残念ながら敗退となりました。送別会には、監督から「たくさん皆さんの声援を頂きありがとうございました」という、お礼の言葉を頂き和やかに終わりました。

地域防犯活動については、昨年より防犯推進員はもとより、子供会役員、中学班役員等と春・夏・冬休みのパトロールを実施し、地域安全に努めています。

ふれあいサロンについては、民生委員・福祉協力委員さんの協力を頂き、毎月一度の茶飲み会、会費制度の食事会等を催し、お話し会、カラオケ、ゲーム等で楽しみ合い、皆さんに好評です。

鎮守の神明神社行事については、地区内を上・中・下の三組に分け各組氏子代表役員を中心に境内の

清掃、新年祭、祭礼、九日祭、新嘗祭等の行事を一年交替で、神主さんに来てもらい祈願をして頂き皆さんで祝っています。

カラオケ会・民謡会・舞踊藤の会・民謡会・グラウンドゴルフ会・ソフトボール会・老人会・青年会・子供会・つくし会等があります。皆さんには地区のためにいろいろご協力を頂いています。微力な私ではありますが、住民の皆様が増戸地区に住んで良かったと感じられることを願い、今後の地区発展のため、皆様方のご指導ご協力をよろしく申し上げます。

川久保自治会

会長 石川 清



私たちの住む川久保自治会を紹介させて頂きます。南は緑小学校、北は粕壁ポンプ場の近くの稲荷神社までに位置し、東武野田線を挟んで北側の粕壁東四丁目から六丁目の一部、南は緑町二丁目から五丁目の一部です。また、古利根川沿いにある川久保公園も四月頃に完成する予定です。東側に古利根川が流れる住宅地で、世帯数約一、

四三〇戸の町会です。

地区運営につきましても、顧問一名、会長一名、副会長二名、会計二名、監事二名、理事二三名、組長一四名、班長六八名です。子供育成会・婦人会・寿会・クリーン春日部推進員・保健推進員・民生児童委員・春日部地方交通安全協会第五支部・夏祭り実行委員会、皆様方多数の御協力を頂き地区運営に当たっております。

年の始めの一月に役員一同、組長、班長、各種団体の皆様方や議員を交えて新年の集いを行い、自治会全体の親睦を深め町内行事に対し、協力をお願いします。三月には、総会を行い一年間の事業計画を決議し、承認を済ませます。また、古利根川の清掃をし、空缶

やごみ拾いを行っております。四月には、緑小学校の校門や通学路で、交通安全協会の役員が新入生の交通安全指導を行っております。五月のクリーンデーには、地域内の清掃を行い、終了後に参加者全員が川久保自治会館で、SS川久保会と婦人会の主催で豚汁のサーブスを毎年受けております。七月

の夏まつりには、午前の部として子供御輿と山車で町内を回り、午後の部として春日部夏まつりの御輿パレードに参加しております。小・中学校の夏休み期間中、補導会を組織し、夜間の七時から九時まで町内を巡回し、青少年の健全

育成に尽力しております。町内盆踊り大会も盛大に行い、模擬店も各種団体の皆様が出店し、特に、焼きそばは二日間で二千食以上も販売され人気があります。十月には、粕壁地区体育祭に参加し、コミュニケーションを深めております。十月末には、彩の国まごころ



夏まつり

国体が開催され、私たちの川久保も、自治会館に千葉県少年女子チームを受け入れ、盛大に歓迎しました。応援にも行き、女子は三回戦まで進み、福原愛ちゃんの所属する青森県チームと対戦し惜敗に終わりましたが、立派な成績であったと思います。十一月に入ると、SS川久保会の皆様が自主的に夜警を行い、違法駐車にステッカーを貼ったりしております。

以上、活力のある住民のための開かれた町会を目指して、今後も頑張りたいと考えておりますので、御支援御指導の程よろしくお願い申し上げます。

グリーンパーク春日部自治会

会長

弓矢 薫



私たちの住む、グリーンパーク春日部を紹介します。平成十一年四月、内牧四区地区より独立して五棟二九世帯で構成される内牧地区十一番目の新しい地区です。環境は良く、まだ緑の多い閑静な街です。

平成元年に入居が始まり、平成二年度には管理組合・自治会・子供会が発足し活動が始まりました。自治会会員の大半が会社員世帯で構成されているため、役員は輪番制という形で住民皆が平等に責任を負いながら現在に至っております。

内牧地区内の行事・大会には、独立以前から積極的に参加し近隣地区とのコミュニケーションを大事にしながらも、各大会一回優勝という成績を収めています。

グリーンパーク内においても、入居当初から続いている夏祭り・もちつき大会を軸に、各種の行事を会員相互の親睦を図りながら、積極的にを行っています。

会員の協力を得て行つ、月一回の廃品回収は、今でも自治会活動の大事な資金源になっています。

その他には、自主防災会主催による防災訓練を年四回行っています。管理組合の協力を得て機材を購入し、一回は市の災害対策室の指導を受け、他の三回は独自の力リキラムを組み被害を想定して行います。避難誘導から始まり、レスキュー・消火・救護・設営等の訓練を行い、最後に参加した会員と非常食の試食、炊き出しのおにぎりを食べ反省会をしています。いろいろな課題を会員皆様の協力を得ながら、これからも一つ一つクリアして住み良い街にしていきたいと思ひます。

役員の皆さん、今後とも頑張ってください。



もちつき大会

備後須賀第三自治会

会長

石川 敬



私たちの地区は、武里地区のほぼ中心地に位置し、武里小学校・消防分署・農協等があり、武里中学校が隣接しています。

朝夕の登下校時には大変混み合つので事故のないように気配りしております。

小学校北側に隣接して御鎮座七八〇有余年を経た稲荷神社があり、昔から備後須賀稲荷として近郊の方々に広く知られているところでございます。大祭は三月第一日曜日に行います。当日は、神楽等も奉納され夕方には神輿渡行も行われます。境内には出店が軒を連ねて立ち並び、大変賑わっております。

人口の増加に伴い、年中参拝者が訪れ、境内での会話が地域住民の拠り所として、役立っていることと思ひます。

四月に総会を開きますが加入世帯は三〇三世帯で、役員は、会長・副会長・会計・監査の各一名で、顧問が別におります。他に体

育関係役員八名、防災防犯を兼ねた役員八名で構成されております。

五月下旬に行われるグリーンデーには、グリーン推進員四名と班長四〇名が四班に分かれて地区内を見回ります。余つた時間があると誰かが声をかけ神社境内等の掃除しております。

七月に入ると、九月の第二日曜日に往れる五自治会連合の運動会に向かつて、体育関係役員と協議を重ね各自自治会対抗種目について選手選考いたしますが、少子化で子供が少なく自宅を訪れて出場をお願いすることが多くなりまして、当日の昼食については、班長さんの手伝いで拙宅にて手作りの混ぜご飯を作り飯台にて会場に運び、役員・選手・応援者全員で会話に花を咲かせテントの下で食べる食事は好評を頂いております。なお、種目別優勝チームが次の武



稲荷神社大祭

里地区体育祭に出場いたします。

最近、子供たちを狙つた犯罪がテレビ、新聞等で報道されていますが、地区内にも防犯に対する意識が非常に高く、安心した街にすると言つことで、防犯委員と防災委員により協議を重ね、警察生活安全課に相談して指示とおりの組織を九月に発足することができました。備品として帽子、腕章、赤色灯の三点一組を二名の方に渡して、十月より毎週一回の活動を開始しております。これからは、安心して住むことができる地区になることを願つて、特に、年末年始の防犯に努めたいと思っております。

新年の集いについては、毎年一月に行つております。全員に呼びかけ一人でも多くの参加者を募り盛大に行つております。賞品をたくさん用意してビンゴゲームなどを行います。特に、野菜の賞品が皆さんに大変喜ばれていますので来年は多くの出品を予定しています。結びになりますが、会員の皆様のご健勝ご多幸、また、地区の益々の発展をご祈念申し上げます。



樋管向島地区

地区長

坂巻 光 良



私たちの住む地区を紹介します。県道西宝珠花・春日部線を南西に国道十六号線、また、樋管耕地を横切る埼玉 広域農道があり、北に杉戸町、東側は庄内古川(中川)が流れ、川向こうは庄和町であります。その庄内古川沿いの地区です。周りは農地で静かな環境の良い地域で戸数は七〇世帯であり、以前は道路も整備されておらず、不便でしたが、昭和五十三年より農地も整備され道路も舗装になり便利になりました。



防災訓練

倉松川と庄内古川に囲まれた地域ですので、台風時期になると水に悩まされてきましたが、外郭放水路が完成し、今では水の心配もなくなり安心した生活が出来るようになってきました。

年間の行事としては、一月に、新年会を全員に呼びかけて行ってあります。三月は総会を行います。五月の春のクリーンデーには、皆さんに参加して頂き、地区全域のゴミ拾いを行ってあります。その後、公園及びびつこ広場の清掃を実施しております。周りが農地のため、ゴミの不法投棄が非常に多く、クリーン推進員の皆さんは大変ご苦労されております。八月には、夏祭りを行っており大人と子供の御輿がありますが、最近では皆さん高齢になり、子供の御輿を中心に地区を回り、その後、集会所で食事をしながら、カラオケなどで楽しい一日を過ごします。十月は、幸松地区体育祭が催され地区長、体育振興委員の方が中心となつて選手選考会を開き選手を決めます。また、全員の方に呼びかけ、参加して頂き一日皆さんで汗をかき、その後反省会を行い地域の親睦を図る場になれば良いと役員一同頑張っております。毎年、十一月第三日曜日には、防災訓練を実施しております。訓練の内容は、天ぷら鍋の消火訓練、通報、消火栓放水、炊き出しで、

特に消火器の使い方を重点に行っております。全員の参加を呼びかけ、毎年二〇人ほどの方が熱心に訓練を行います。訓練終了後、皆さんで作ったおにぎり、とん汁を食べながら話し合いコミュニケーションを図っております。最近では、皆さんのご理解とご協力を頂き参加者も増えております。今後、皆さんの尚一層のご協力を頂き住み良い地区にして行きたいと思っております。地区発展のため、ご指導ご協力をお願い申し上げます。

藤ヶ丘自治会

会長

桂 千 枝 子



私たちの住む藤ヶ丘自治会は、東武野田線の「藤の牛島駅」に近く、東側は庄内古川(中川)が流れる静かな住宅街です。昭和四十七年から四十八年にかけて転居してきた人々だけで、翌四十九年に結成された自治会です。現在の世帯数は、四六五世帯でございます。

平成十一年には、自治会結成以来積み立ててきた基金で、新しい

集会所も落成いたしました。

地域内には、大きな建物もありませんが、南端に隣接して藤塚公民館があり、また、平成十四年には、藤塚野口公園が出来ましたので、会員有志によるグラウンドゴルフクラブも立ち上がり、健康増進に親睦に大いに利用しております。

自治会組織は、大きく四ブロックに分かれており、その中に班が三一班あります。各班より一名の代議員が選出されて、総務部・会計部・防災部・清掃部・厚生部・婦人部・児童部のいずれかに属して活動しております。会長一名、副会長三名、正副書記各一名、毎月第一土曜日に集会所において、定例代議員会を開き、各部の報告連絡、行事の役割分担等を決めています。随時三役会も開き諸問題に対応しております。また、自治会通信を発行して、会員の冠婚葬祭転入転出、毎月の活動や行事を報告しております。

年間の主な行事は、公民館を借りて開催する総会に始まり、春秋の側溝清掃、市のクリーンデーに参加、募金活動、合同防災訓練、体育祭、敬老の集い等あります。最大の行事は、夏休みに入った頃に二日間開催する納涼祭です。新興住宅のため、伝統や由緒あるものは何もない私たちは、はじめは手作りの山車や御輿を子供たちが



納涼祭

引いてお祭りを行いました。今は、自治会のサポート会、藤友会の皆様や地域の方々のご協力で盛大な納涼祭になりました。地域の行事を通して、今の子供たちが、自分が自分の故郷と感じて、将来情緒豊かな、そして思いやりのある大人に成長してくれたらいいと思っております。一方で、少子高齢化が進み、御輿の担ぎ手も少なくなりました。変化の激しい速度の早い時代を、自治会はどのように対応していけばよいか皆で知恵を出し合って、安全で安心して住める街を目指したいと思っております。



南中曽根地区会

地区長 遠藤 隆



南中曽根地区会は、東武野田線「豊春駅」より北東に位置し、豊春

小学校、豊春中学校、宮川小学校、清秀幼稚園に囲まれ、地区の西側に旧古隅田川が流れ、農家と住宅が混在する閑静な住宅街です。代々この地区にお住まいの方に、お聞きしたところ、昭和二十九年七月の一町四力村合併の時に、荒神組（現在の一組）、八幡組（同一組）、神明組（同一組）の五十六世帯で「地区会」らしきものを立ち上げたそうです。その後、昭和五十二年の四月に、一組から七組迄の自治会が合同して「南中曽根地区会」として発足したそうです。



ふれあいin中曽根

現在は、六七〇世帯と発展をしております。平成十六年度現在、六つの自治会で構成され、会長、副会長二名、総務四名、会計一名、監査一名、広報二名、事業部として、体育委員二名、婦人部一名、青年部一名、正副組長二名の組織となっております。毎月第一土曜日に定例会、月の最後の土曜日には四役会を開きます。

定例会には、各組の正副組長も出席し、連絡・報告事項の徹底を図るとともに、各年度事業遂行のための審議と各自治会との連携、親睦の場としております。

南中曽根地区会は、公共団体並びに各組相互の連絡を図り、南中曽根の健全なる発展と会員の社会福祉の増進と親睦を期することを目的として、平成十六年度の事業計画を次のとおり行っております。

- 一、理事会（随時）
- 二、本部会議
- 三、地区定例会
- 四、地区コミュニティ事業（ふれあいin中曽根・三月実施）
- 五、いきいきサロン
- 六、環境整備事業（グリーン作戦）
- 七、市関係事業への協力
- 八、地域防災事業参加
- 九、豊春地区事業協力参加
- 十、地区内の小・中学校との合同パトロール
- 十一、その他役員会での決定事項

結びとして、地区会最大のイベントである「ふれあいin中曽根」をご紹介します。今年度で七回目の開催となりますが、毎回、地区内の清秀幼稚園のご協力をいただき、体育館では展示会を行い、地区の皆さんの作品等を展示させていただいております。また、グラウンドでは「いきいきサロン中曽根」を民生委員と婦人部のご協力で開催し、フリーマーケット、模擬店、大人も子供も一緒に遊ぶレクリエーション、ビンゴゲーム等々、アトラクションとしての清秀太鼓、ザ・インパクトによるエレキバンドの演奏と欲張りまして、参加者が三五〇名を超え大盛況となりました。

南中曽根地区会は、地区会員の皆様の心の「ふれあい」を、そして互いに助け合い「明るい街づくり」をモットーに日々研鑽し、努力を重ねてまいります。

シティプラザ自治会

会長 平井 久雄



私たちの自治会は、五階建てのマンション「シティプラザせんげ

ん台」二棟が、せんげん台駅の東口より五〇〇〜六〇〇メートル春日部寄り、東武線と国道四号線の間で建てられており、その住民で構成されております。線路寄りの三番館と四号線沿いの式番館とで一四戸の世帯数があり、会員数は平成十六年度で二一八戸となっております。自治会は、建築後まもない昭和六十二年九月に発足して現在に至っております。自治会の役員は各棟より選出された、会長、副会長、会計、監査を含め、二三名で、班長は、総務、教養、子供スポーツレクリエーション部会のいずれかに属して、行事を各部署が主体となって行っております。

主な活動としては、公園清掃、ウィンターパーティ、ボウリング大会、ラジオ体操、敬老と入学生童へのお祝い、及び「自治会だより」の発行、広報配布等があります。

それ以外の大枝地区六連合会主催の歩こう会、ゴルフ大会や新年会の交流の場となっております。私たちの自治会独自の行事としては、夏祭りが無い代わりに、子供たちを主に対象としたウィンターパーティをマンションに隣接する公園で行なっております。これは模擬店や子供ゲーム、大人用クジなどを用意して、家族の皆さんが楽しめるものとなっております。今年度は



ウィンターパーティ

雰囲気を変えて、アマチュアのバンドに依頼して演奏会で盛り上げました。三年振りに天候にも恵まれ、青空の下でみんな揃って、楽しむことができました。

私は会長就任二年目ですが、隣地区の催しに参加することで、周りの様子が少しずつ分かってきました。ここは集合住宅なので、一般の所と比べて転出、転入が大変多く、賃貸も数ある中で、なかなか全戸が自治会に加入して頂けない状況です。

建築後二〇年余りが経過して住民の高齢化もあり、家庭の事情で自治会活動に参加できない方が、増加しているのも事実です。この問題にどう対処すべきかを、考えなければならぬと思います。近隣自治会の方々との意見交換を通して、多数の皆さんが参加してくれるような、自治会にできたらと願っております。

# 豊野地区の紹介

豊野地区自治会連合会は、14の地区、自治会で構成し、加入世帯数は、5,452世帯です。役員は、会長はじめ、副会長5名、事務局長1名、会計2名、監査2名の組織で運営しております。会議は4月の定期総会にはじまり、役員会、理事会を月1回のペースで開催しております。役員は、連絡や報告事項の徹底を図るとともに、活動事業遂行のための審議を行い、これらの審議内容を理事会に諮り、各地区、自治会との連携や親睦を図り、より一層のコミュニティを深めております。また、必要に応じて役員会を開き、会運営の円滑化を推進しております。

連合会の事業は体育祭、親子スポーツフェスティバル、防災合同訓練、各種募金の支援、春のクリーンデーへの参加、各小・中学校への協力、社協豊野支部への協力、秋の視察研修、賀詞交歓会などを行い、多くの皆様方との交流を深め情報交換を行っております。また、連合会では、豊野地区体育振興会、社協豊野支部、消防第六分団、少年育成会、文化連盟、地域防犯推進協議会、交通安全協会などの諸団体に助成金を拠出し、その活動への支援をし、活発な会運営が出来るように協力をしている。特に、高齢化社会の進展に伴う支部社協の活動のあり方について検討を加えながら、単身・老夫婦世帯の見守り活動をより一層強化していく必要があると考えております。その他、地域防犯推進協議会、少年育成会と協力して夏・冬季パトロールの実施をし、子供たちを犯罪や不審者から守るように安心、安全をモットーに地域ぐるみで活動しております。一日も早く安心して暮らせるように各地区、自治会のさらなるご協力をお願いし、より一層の強化をし、住みやすく活力にみちた地域社会づくりを目指しながら、今後とも活動をしていきたいと考えております。

豊野地区自治会連合会 会長 時 田 美野吉

## 《豊野地区自治会連合会》(14自治会等)

赤 沼 自 治 会	田 中 行 雄
"	関 根 寛 治
銚 子 口 自 治 会	川 上 秀 夫
"	会 田 貢 平
本 田 上 地 区	時 田 美 野 吉
本 田 中 地 区	酒 井 秋 男
本 田 下 自 治 会	島 村 藤 一 郎
藤 塚 新 田 地 区	石 川 幸 三 郎
三 本 木 自 治 会	高 橋 栄 二
荻 原 自 治 会	内 海 伸
藤 ヶ 丘 自 治 会	桂 千 枝 子
野 口 自 治 会	二 葉 三 郎
新 川 島 自 治 会	唐 紙 昭
藤 ヶ 丘 文 化 村 自 治 会	中 橋 修
六 軒 地 区 自 治 会	日 向 武 雄
豊 野 町 自 治 会	岡 村 久 人

## 役員視察研修報告

去る平成16年11月11日、宮城県仙台市の連合町内会会長 青木美治氏に町内会等の状況と昭和53年6月に発生した宮城県沖地震の体験時の講話をいただき、意見交換をさせていただきました。新潟県中越地震の直後であったため、たいへん有意義で、参考となりました。仙台市は、1,371町内会で構成され、加入世帯数は393,924で加入率は89.5%となっております。町内会等の規模としては、2,355世帯から4世帯で平均287世帯です。なお、春日部市は136自治会、5,128世帯で加入率69.5%となっております。活動内容は、当市と同様です。

さて、宮城県沖地震についてですが、発生後、行政も他の機関も迅速に動いたのですが、実際に機能したのは、2、3日後だったそうです。そこで一番初めに動いたのは町内会でした。道路、家屋等の損壊により重機・緊急車両が活動できない状況であるため、自分の家族の安全を確かめてから、町内会長さんは地域の動ける人を集め、陣頭指揮を取り、

怪我人の救出に奔走したそうです。この時ほど、人と人とのつながりが大切である

と強く感じ

たことはな



## 編集後記

だいぶ春めいてきましたが、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。昨年ほど「災害」という言葉を聞いた年はありませんでした。日本のみならず世界のあちこちで、台風、地震などの自然災害が多く発生し、甚大な被害を受けたところ。また、身近な地域社会においても様々な事件が発生し、助け合う大切さを一層感じております。住民生活の向上と地域社会の発展に寄与するよう、自治会運営に取り組んで行きたいと思えます。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

### 編集委員氏名

- 会長 時 田 美野吉
  - 副会長 上 野 照 信
  - 副会長 板 倉 肇
  - 副会長 上 原 光 孝
  - 副会長 板 橋 光 二
  - 副会長 石 島 忠 夫
  - 発行日 平成十七年三月一日
  - 発行者 春日部市自治会連合会
  - 事務局 春日部市役所自治振興課内
- 〇四八七三六二一一一